

第3回 学校運営協議会 令和3年3月10日（水）（協議）

本校会議室において、第3回の学校運営協議会を開催しました。学校運営協議会委員5名（公務のため新田千佳委員が欠席）、学校側からは、准校長、教頭、課長補佐、首席、各系列代表教諭が出席しました。今年度最後の運営協議会として、この1年の教育活動の報告や評価結果に対して、委員から助言をいただくことにより、成果と課題を確認しつつ、次年度に向けた方向性を決定していくものとなりました。

内容

運営協議会 15:00～16:55

① 准校長挨拶

② 協議事項

- ・各系列代表から今年度の総括
- ・授業アンケートについて
- ・学校教育自己診断について
- ・地域協働推進グローバル型事業等について
- ・学校経営計画について
- ・その他

委員からの意見等

【協議】

- ・12月の3年生「課題探究GS」発表会は、発表の内容が多岐にわたっていて、それぞれの個性を活かしていて例年よりさらによかった。
- ・分校での少人数での実習をともなう取組みは一番根っここの部分を育てる大事なところであり、先生方には是非頑張ってもらいたい。
- ・授業アンケートについては、今年はこのコロナ禍で、日常生活を頑張っただけで偉いと思う。能勢分校の行事を見ていると、生徒の雰囲気がとてもよく、生徒が前向きに過ごしているのが伝わってくる。結果だけでは見えない生徒たちの頑張りがあったのではないか。
- ・授業アンケートについて、前回の数値とは全く違う結果になっていて驚いている。3年生が卒業前にこれほど自信をつけて巣立っていくのかという驚き。3年間の先生方の取組みが実を結んだ結果であると思う。きっと1・2年生もそのように成長してくれるだろう。
- ・体育祭では、PTAとして関わらせてもらったが、3年生の団結力はすごかった。2年生は中だるみの時期ではないか。3年生に引っ張ることができる人材がいた。行事の取組みは感動した。
- ・三者の自己診断の結果を見て、それぞれが自分ごととしてとらえられていると感じた。先生方は少人数でいろいろな課題に取り組んでいる。一方で先生方の負担になってい

るのではないかと心配したこともあったが、先生方の熱意が感じられて頼もしく思っている。先生方の自己診断結果が高いことはうれしいことだ。

- ・今年卒業生は中学から力を持っていた子達、頑張ったのが伝わった。メディアに取り上げられたことがPRになっている。今、波が来ていると思う。能勢中からの進学者が少なかったこともあり、今後小中高一貫を盛り上げるためにも、先生方の気持ちが気になっている
- ・報道は断らずに受け続けてほしい。能勢分校がメディアに出ると、高校生の親ではないが周りから声をかけられることが多い。能勢町は、様々特徴があり、ネームバリューがある場所である。
- ・報道がいいきっかけとなり能勢町外からの生徒増につながっているのではないか。
- ・交通手段の改善は学校の課題としてこれからも取り組んでほしい。
- ・次年度、町内外の生徒の割合も変わり里山留学（下宿制度）も始まる。新たな取組みが進み、次の波が来る。皆で意見を出し合いながら、次のステップに向かっていきたい。